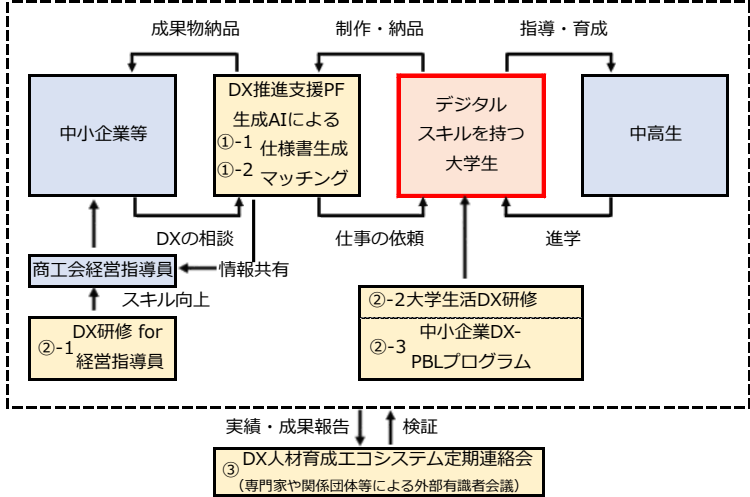


事業概要：DX人材育成エコシステム創出事業

旧制度（推進）

申請者	山梨県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	512,099千円 (163,845千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・生成AI技術を活用し、中小企業等がDXのための具体的な行動(要件仕様定義・外注等)に至る枠組みを提供。 ・県内大学生をDX人材として育成・DX推進の担い手にすることで、DX実現上の資源(ヒト・カネ)面の課題を解消。 ・県内企業のDX推進の加速／将来的なDX人材の育成・供給のための自発的な循環サイクルの構築。 ・若手人材を中心とした将来の地域リーダーの養成と、地域での成功体験・魅力再発見による大学生の県内定着。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 研修等によりデジタル技術を身につけた大学生が中心となって、中高生へのDX指導・育成を行うとともに、商工・経済団体などと協力して中小企業のデジタル課題の解決を行うことで、地域内で人材育成サイクルを確立する取り組み。		
	【R8年度事業 経費内訳】 【主な経費】（委託料） ① 山梨県内DX人材の育成 ・取組1：県内大学生のDXリテラシー習得 32,422千円 ・取組2：中小企業のDX課題解決を担う人材育成 27,681千円 ・取組3：DX事例共有コンテストの開催 11,882千円 ② 生成AIを活用したDX推進支援プラットフォームの運用・機能強化 ・取組1. DX推進支援PFの機能強化 44,271千円 ・取組2. DX推進支援PFの運営・システム運用 47,589千円		
KPI	①DX推進支援PFを通じたDX支援案件数（+279件） ②中小企業等へのDX支援が可能な人材数（+84人） ③地域における新規雇用者数(※1)（+52人） ※県内大学生等の県内企業への新規就業者数		
URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		
	https://dxecosystem-yamanashi.jp/ https://www.pref.yamanashi.jp/seisaku/sogokeikaku/shin-sougoukeikaku.html (P.147 4 DX人材育成エコシステムの形成)		



事業概要：「美酒・美食王国やまなし」建国プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	山梨県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	303,024千円 (100,782千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・本県は全国に誇れる落葉果樹の産地として発展し、生産量日本一のぶどう、もも、すももをはじめ、おうとう、かき等の様々な果樹が生産されている。 ・果樹をはじめとした県産食材の魅力を観光分野においても最大限に活用するため、本事業を通じて、「美酒・美食」をテーマに農業振興⇔観光振興の好循環実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・山梨の美酒・美食の魅力向上を目的に、海外有識者による発信やコンクール記念PR行い、山梨県産ワイン・日本酒のブランド力向上を図る。 ・さらにデータ農業による生産力強化、新規就農支援、スイーツ開発、飲食店ブランド向上、富裕層・インバウンド向けプロモーションを展開する。 【R8年度事業 経費内訳】 ○「美酒」に関する取り組み ・美酒美酒やまなしテロワール確立事業（委託料）20,000千円 ○「美食」に関する取り組み ・新規就農者育成支援事業（補助金）14,863千円 ・食材コーディネーターを活用した流通活性化事業（委託料）8,062千円 ・美酒・美食王国やまなし推進事業（委託料）12,001千円 ・やまなしスイーツブランド化推進事業（報酬、旅費、委託料）11,748千円 ・インバウンド観光プロモーション事業（委託料、負担金）21,702千円		
	KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における農林水産出荷額（県産農産物出荷額） （+1,553億円） ②観光入込客数（+5,475千人） ③甲州ワイン・日本酒の年間輸出货量（+136KI）	

事業概要：デジタル人材育成・職場環境整備促進プロジェクト事業

旧制度（推進）

申請者	山梨県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	34,206千円 (11,402千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	・人口減少の深刻化によって生じる労働力不足、特にデジタル分野の人材不足が課題。 ・働きたくても十分に働けていない潜在的な労働力である女性を掘り起こし、女性のデジタル分野におけるスキルアップやリスキリングを後押しするとともに、働きやすい雇用環境の整備を支援することで、女性の労働参画を促し、労働市場全体の生産性向上や労働供給の増加を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 オンラインでデジタルスキルを習得できる研修を実施し、修了者に対してキャリア相談や就労機会の提供などの就労支援を行う。また、男性の育児休業取得を促進するため、県内中小企業の雇用環境整備を支援する。さらに、「豊かさ共創社会」の実現に向け、働く者のスキルアップやリスキリングを推進する体制整備を行う。		デジタル人材育成 就労支援 正規雇用化へ オンライン中心の デジタルスキルの習得 専門カウンセラーのヒアリングを ふまえ受講者に合った 就労形態を紹介 受講者が希望する 就労先 
	【R8年度事業 経費内訳】 ・デジタル人材育成・就労支援事業（委託料）11,402千円 オンライン研修によるデジタルスキル習得と、修了者へのキャリア相談・就労支援を実施。 ・男性育児休業取得促進事業（補助金）※別財源で事業執行 男性の育児休業取得を進めるため、中小企業の雇用環境整備を支援。 ・「豊かさ共創社会」連携体制構築（補助金）※別財源で事業執行 働く者のスキルアップ・リスキリングを促進する環境を整備。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（+653千円） ②県内人口の転出超過数（20歳～49歳）（▲605人） ③豊かさ共創スリーアップ推進協議会参加企業数（+600社） ④厚生労働省の「両立支援等助成金 出生時両立支援コース」（1人目）の申請企業数（+45件）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL （交付金の具体的使途・実施体制） 令和8年6月公表予定 （効果検証） https://www.pref.yamanashi.jp/seisaku/seisakuhyougikai/top.html

繼續

※山梨県、山梨県都留市の広域連携事業

申請者	山梨県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	257,923千円 (35,566千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本県の中小企業とその支援団体がGXを促進していく好循環（エコシステム）を構築し、経営強靱化を図る。 ・本県が強みを有する水素製造を、関連産業の集積や活用につなげ地域の収益力を向上させる。 ・主要産業である農業と水素を組み合わせ、高付加価値化を図る。 →これらの取り組みにより、脱炭素化と本県経済の活性化の同時達成を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 GXエコシステムを構築するため、前年度に産業、金融といった多様な主体で構築したコンソーシアムにおいて、県内企業のGXを支援していく人材を更に拡大、高度化を図るとともに、モデルケースとなる企業支援を行い、横展開に向けた準備を進める。また、水素については、昨年度の委託成果を元に本県の水素社会に向けた戦略策定に向けて関係団体も交えて検討を深めるとともに、実証開始した水素加温器についてはその運用を通じて、データの収集・課題を分析し、実用化に向けた取り組みを進めることで、本県産業の高付加価値化を図る。					○中小企業のGX化促進 ・企業とその支援団体がGXを推進していく仕組みを構築・人材育成 →好循環（エコシステム）の形成 ○本県の水素製造の強みを活用 ・水素社会に向けた戦略の策定 ・カーボンフリー農業に向けた取り組み →産業の集積・高付加価値化	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・GXエコシステム構築に関する事業 支援機関の人材育成(委託料) 8,097千円 支援体制の整備（委託料） 2,617千円 インセンティブとなる仕組みづくり（委託料） 17,820千円 ・カーボンフリー農業における水素加温器の導入実証 水素燃料費等 7,032千円					山梨県はグリーン水素製造のトップランナー R7.10 グリーン水素パーク-白州-稼働（サントリー白州工場） （国内最大のグリーン水素製造設備） 2025年10月11日 実証開始  グリーン水素製造のトップランナーという強みを生かし、脱炭素化や産業の高付加価値化へと展開し、県内経済を活性化	
主なKPI	①地域における新規雇用者数（+48人） ②GX支援案件数（+262件） ③GX支援人材育成数（+310人） ④水素・燃料電池関連産業参入企業数（+30件） ⑤水素加温器によるCO2削減量（▲16.6t-CO2） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	令和8年6月公表予定
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：地域を核とした持続可能な観光地・山梨の創出

継続

申請者	山梨県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	336,892千円 (98,724千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・事業者や地元自治体がユニバーサルツーリズム（以下、「UT」）の受入環境を整備し、その情報発信によりUTを推進することで、宿泊日数の増加や長期滞在による消費拡大を図る。 ・既存の道の駅を地域の魅力や価値を体感できるショーウィンドウとし、この特別な道の駅「フラッグシップ道の駅」を各エリアに設定し、核として、エリア各地への人流の促進や来県者の消費拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・UT推進事業：事業者や地元自治体の機運醸成を図るとともに、受入環境の整備方針の検討及び環境整備や情報発信の支援を実施する。 ・「フラッグシップ道の駅」推進事業：地域の個性を際立たせた「道の駅フラッグシップ化」を推進し、この特別な道の駅を核に地域資源の魅力を発信する取り組みを行う。 ・南山梨エリア周遊観光促進事業：地域事業者等に対し連携創出の場の提供と観光商品開発等の支援を行うとともに誘客のためのPRを実施する。 ・安全登山対策推進事業：豊かな自然を安心して楽しむことができる受入環境を整備する。					 誰もが安心して旅行で ける受入環境の整備 道の駅の フラッグシップ化  長期滞在と本県全域への人の流れを実現 『持続可能な観光地・山梨の創出』	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○UT推進事業 ・啓発セミナーの開催（2回）（1,154千円） ・推進検討会議の開催（3回）（505千円） ・プロモーション用素材作成（930千円） ・ニーズ調査の実施（1,257千円） ○「フラッグシップ道の駅」推進事業 ①「道の駅富士川」を核とした情報発信の拡充、これまでの事業成果の横展開等（26,772千円） ②「道の駅つる」を核とした東部地域の魅力を訴求する事業計画策定、モデルツアー造成等（53,516千円） ○南山梨エリア周遊観光推進事業（負担金） ・観光商品の開発等の支援（専門家の伴走支援含む）（3,428千円） ・静岡県からの誘客を目的としたプロモーション事業の実施等（1,372千円） ○安全登山対策推進事業 ・登山口での指導（2箇所）（1,716千円）・登山道の整備（道標設置、10箇所程度）（8,074千円）						
主なKPI	①観光消費額（+1,825億円）②延べ宿泊者数（+1,734千人）③UTに取り組む事業者数（+70者）④観光入込客数（峡南圏域）（+307千人）⑤観光入込客数（東部圏域）（+690千人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和8年6月公表予定 （効果検証） https://www.pref.yamanashi.jp/seisaku/seisakuhyougikai/top.html

事業概要：山梨県地場産業グローバルチャレンジ・人材育成支援事業

継続

申請者	山梨県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	185,023千円 （49,736千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・顕在化しているチャンスの獲得：インバウンド需要の増加、海外展開の容易化 ・弱点の克服：グローバルな視点や経験を活かし、地域や地方の活性化、発展に貢献することができるグローバル人材の育成、地場産業分野におけるDXの効果活用 →事業の実施により、課題の解決と産地における自らの課題に取り組む人材を育成。新規事業化や海外需要拡大に繋げ、地場産業従業者数の維持・増加を目的とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 上記の顕在化しているチャンスを獲得し、弱点を克服するため、各種補助事業等を実施する。また、事業をとおして課題解決に取り組む人材を育成する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・山梨県地場産業チャレンジ支援事業 山梨県地場産業チャレンジ支援補助金（補助金）4,500千円 地場産業人材育成促進事業（職人海外留学支援奨学金）12,500千円 ・ジュエリー産地山梨高度人材養成事業 一流ジュエラーによるプロフェッショナル向け実習講座（報償費等）2,527千円 ・ジュエリークリエイター発信事業費 ジュエリー職人発信力強化プロデュース事業（委託費）2,500千円 ・G I 山梨・日本酒ブランドリニューアル・海外展開人材育成事業 ブランドリニューアル支援事業、海外展開人材育成支援事業（補助金）：4,500千円 ・（仮称）G I 山梨・甲州ワイン海外プロモーション人材育成事業 現地プロモーション・海外有識者招聘（補助金）：10,000千円 ・郡内織物ライフプロダクト支援事業費（補助金） 若年層向け展示会実施（補助金）：1,000千円 ・郡内織物アジア販路確立支援事業費 アジア圏の展示会等への出展（補助金）：2,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①評価対象地場産業の従業者数（指標年2022年の従業員数を上回る人数（+100人）） ②育成の成果としての商談件数（+1,956件） ③人材育成の人数（デジタルを活用し、海外需要開拓に取り組んだ人数）（+192人） ④人材育成の人数（各事業の総計）（+748人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和8年6月公表予定 （効果検証） https://www.pref.yamanashi.jp/seisaku/seisakuhyougikai/top.html

事業概要：地域の特色を活かした成長産業推進事業

継続

申請者	山梨県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	113,995千円 (31,563千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	安定的な成長が見込まれる分野への参入を促進し、高付加価値で安定的な事業展開を図ることにより、エネルギー、食料品、原材料価格高騰など地域経済が取り巻く情勢が厳しい場合でも、経済活動に支障が生じないよう、しなやかに対応できる経済基盤を構築する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 今後、安定的な成長が見込まれている医療機器、水素・燃料電池、航空・宇宙・防衛分野への参入促進や事業の収益化を進める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・医療・デバイス・コリドー創生事業 両県連携展示会・マッチングイベント開催費(補助金) 3,421千円 展示会 (Japan Health) 出展費(補助金) 2,125千円 ・水素・燃料電池分野基幹産業化推進事業費 水素供給インフラ周辺ビジネス参入支援事業費補助金 (補助金)3,000千円 ・航空宇宙防衛関連産業参入支援事業費 支援窓口の設置事業費(補助金)6,467千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①医療機器関連産業に関する支援企業商談件数 (+384件) ②水素・燃料電池関連産業への参入企業数 (+5社) ③航空宇宙防衛関連産業に関する支援企業商談 件数 (+180件) ④米国展開事業に参加する企業 (+15社)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) 令和8年6月公表予定 (効果検証) https://www.pref.yamanashi.jp/seisaku/seisakuhyougikai/top.html

事業概要：ソーシャルイノベーション創出事業

継続

申請者	山梨県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	64,467千円 (20,247千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・県と民間金融機関が連携し、新たな官民連携を推進する法人「一般社団法人やまなしソーシャルイノベーションセンター」を設立し、伴走支援等を通じて 地域課題の解決と持続的な経済循環を実現させる。 ・地域課題解決に取り組む民間事業者に対し、多様な関係機関が連携して伴走支援を行う体制「新事業共創プラットフォーム」を整備し、幅広い分野での事業創出を通じて雇用創出や地域経済の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①やまなしソーシャルイノベーションセンター事業 山梨県の地域課題解決を図るため、県と民間金融機関が連携し、新たな官民連携を推進する一般社団法人を設立。当該一般社団法人の運営に係る費用の助成等を行う。 ②新事業共創プラットフォーム運営事業 幅広い分野での事業創出を促進するため、多様な関係機関が連携して伴走支援を行う体制を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ①やまなしソーシャルイノベーションセンター事業費 ・運営費及び事業費（補助金）28,248千円 ※うち交付金対象事業費 20,247千円 ②新事業共創プラットフォーム運営事業費 ・プラットフォーム構築・運営事業費（委託費） 5,591千円 ・委託業務審査委員会経費（報償費等） 25千円 ※うち交付金対象事業費 0千円						
主なKPI	①山梨県内の就職件数 （+138件） ②山梨県内の事業所数 （+208件） ③官民共創で支援するプロジェクト数 （+9件） ④新事業共創プラットフォームで支援する企業数 （+45件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和8年6月公表予定 （効果検証） https://www.pref.yamanashi.jp/seisaku/seisakuhyougikai/top.html

事業概要：河口湖畔の観光拠点施設や周辺道路の環境整備による観光振興事業

継続

申請者	山梨県、富士河口湖町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,473,780千円 (286,570千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・河口湖畔の「大石公園」や「八木崎公園」の混雑解消を目的とした駐車場やトイレを再整備し、インバウンド観光客等の受入環境を再整備する。 ・観光施設へのアクセス向上や観光客に人気の河口湖畔周遊サイクリングの環境改善のための周辺の道路拡幅事業を実施し、地域の高付加価値化と持続可能な観光地域づくりを進める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 近年急増するインバウンド観光客により、公園や河口湖畔道路で混雑や安全性低下が顕在化していることから、受入環境の再整備と周遊観光の促進を図る。本事業では、交通データ分析により混雑時間帯や区間を把握し、情報発信を通じて観光客の分散化を促進する。また、大石公園・八木崎公園の駐車場整備やトイレ新設、湖畔道路の改良を行い、滞在環境の改善、渋滞緩和、安全性向上を実現することで、インバウンド観光客の滞在時間延長による観光消費の拡大につなげ、持続可能な国際観光都市の形成を目指す。					  	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・交通状況分析業務（委託料）10,000千円 ○拠点整備事業 ・トイレ新築工事、駐車場新設工事 99,570千円 ○インフラ整備事業】 ・道路整備事業 177,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額単価（宿泊外国人）（+4,804円） ②観光入込客数（+45万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

※山梨県、富士河口湖町の広域連携事業

事業概要：やまなしクリエイティブ産地価値創造事業

新規

申請者	山梨県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	81,484千円 (22,198千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	山梨が世界に誇る甲州ワインに続く次のスター地場産品を生み出すため、地域の歴史的・地理的背景と綿密に紐付き、本県らしさを特徴付ける産業であり、かつ現時点においても一定の産業規模をもつ、郡内地域における「郡内織物」と甲府盆地を中心とする「ジュエリー産業」に着目し、「伝統 × 未来」をテーマに、各々の課題に応じて、海外展開、ブランドプロモーション、人材育成を実施する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○郡内織物 産地の知名度・ブランド力向上に向けて、次のとおり事業を実施する。 ①若手デザイナーやデザイン分野の学生に対して、郡内織物に関する理解促進の機会および制作・発表の場を提供することで、郡内織物と先進的な感性との融合を図り、郡内織物の新たな価値創出に繋げる。 ②郡内織物の歴史的背景や特徴、①における取組成果について、各種メディアを活用して情報発信を行うことで、国内外の関連業界関係者の関心を喚起し、クリエイティブ分野における認知度の向上を図る。 ○ジュエリー 県ジュエリー協会または、甲府商工会議所が取り組む技能五輪に関する産地プロモーションや人材育成事業に対し、事業の実施に要する経費を助成する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・郡内織物国際価値創出推進事業費（委託料）20,698千円 ・ジュエリー産地山梨技能五輪プロモーション・人材育成事業費補助金（補助金）1,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地場産業（郡内織物及びジュエリー）にかかる関係人口（+30人） ②日本国内での「山梨」ブランドパフォーマンス・スコアの向上（郡内織物）（+0.9%） ③日本国内での「山梨」ブランドパフォーマンス・スコアの向上（ジュエリー）（+0.6%） ④県立宝石美術専門学校の定員充足率（入学者/定員）（+3.0%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

第63回 技能五輪全国大会 貴金属装身具部門 会場の様子

申請者	山梨県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	210,825千円 (70,275千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	令和7年11月に開設した、本県のイノベーション拠点と位置付けるスタートアップ支援センターを中心に、当該事業を有機的な連携を図りながら展開することで、起業や第二創業、事業承継、新事業創出、新技術導入等に対する事業効果を高め、ビジネスマッチングの加速、より高度化、深度化された事業連携の可能性を高め、新事業の成長を加速させる。 県内産業の成長を促進することで、県内経済の活性化及び雇用環境の向上を図り、豊かな地域経済を創生する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 イノベーション創造の起点となる支援拠点を活用し、県外からのスタートアップ誘致、機動的に事業を実施することで、起業創業や第二創業、積極的な事業承継等の機運醸成、県外からの新産業誘致、県内外の大学及び研究機関や大学発スタートアップ等の発掘や事業化の支援、様々な企業連携による新事業創出や県内への拠点および事業展開を促進する。これらにより、県内企業が革新的な技術やアイデアを活用した新事業の成功事例を創出し、県全体に革新的な技術導入の機運が醸成され、投資の拡大、協業事例の増加などイノベーション創出が加速し、地域産業の高度化を図るとともに高い競争力と生産性を持つ県内企業が増えることで、構造的な課題の解決を通して、地方創生として県が目指す将来像「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」の達成に寄与する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・プロモートに関する事業（負担金1,100千円、委託費3,586千円） ・支援体制整備に関する事業（委託費1,782千円） ・アントレプレナー創出に関する事業（委託費4,200千円） ・スタートアップアクセラレーションに関する事業（委託費15,500千円） ・ビジネスマッチング強化に関する事業（委託費20,000千円、補助金10,000千円） ・研究シーズとのマッチングに関する事業（委託費9,000千円） ・次世代後継者スクールに関する事業（委託費5,107千円）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	県外企業の新たな県内事業展開数（+50件） 支援事業の対象スタートアップが受ける投資額（+50億円） 県内企業とスタートアップによるビジネスマッチング数（+30件） 県内企業と大学・研究機関等との事業マッチング数（+9件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

申請者	山梨県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	148,403千円 (45,907千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・自然・歴史・文化・産業・暮らしに紡がれた地域資源の価値を、市場での意思決定（来訪・購買等）に必要な情報として発信し、行動に結びつける。 ・地域イメージや認知度の偏在を解消することで、観光消費額を最大化し、地場産品の需要を拡大させることで、地域の“稼ぐ力”を高める。 ・「文化的テロワール」の観点から地域資源の価値を体系的に整理し、デジタルアーカイブとして蓄積することで、発信の統一感と継続性を担保する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 オウンドメディア（owned media）、外部メディアタイアップ（paid media）、外部メディアPR活動（earned media）による統合的コミュニケーションの設計・運用、SNSやデザイン思考を活用した情報発信によって、現代における消費者の購買行動を表すAISASモデルの各段階に存在するボトルネックを解消する。 また、地域資源の価値を「文化的テロワール」の観点から体系的に整理・可視化し、共通資産（デジタルアーカイブ）として蓄積することで、「情報発信の基盤」を整備する。加えて、県民の発信意識や愛着度・シビックプライドを醸成する。					文化的テロワールの体系的整理 ①写真・動画等の収集 ②収集素材を活用した動画制作  統合的コミュニケーション ①統合的メディア戦略 ②SNSを活用した情報発信 ③キャラクター・ロゴ制作  ↓ “選ばれるやまなし”へ	
	【R8年度事業 経費内訳】 1. 未来をつくる「やまなし」ブランド価値創出事業費 ①メディア統合的コミュニケーションの推進 22,416千円 ②SNS動画を活用した情報発信の実施 7,748千円 ③山梨県クリエイティブプロデューサーによるキャラクター・ロゴ制作 6,000千円 2. 「文化的テロワール」を軸にした映像コンテンツアーカイブ事業 ①「山梨らしさ」を表現する写真・動画等の収集 6,791千円 ②収集素材を活用した動画制作と地域プロモーションへの展開 2,952千円						
主なKPI	①観光消費額（+335億円） ②主要地場産品の購入・利用経験率（平均 +1.80%） ③主要地場産品の認知率（平均 +1.92%） ④主要地場産品の出荷額（量）の増加率（平均 +0.15%） ⑤ブランド認知度（+3（順位）） ⑥「地場産業が盛んな地域」の特性想起率（+3（順位））					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：新たな圏域の交通ネットワーク形成事業

新規

申請者	山梨県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	321,817千円 (103,361千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・モビリティハブ整備とタクシー事業者連携により、持続的な移動手段と乗継利便の確保を図る。 ・駅ー目的地の二次交通を強化し、来訪者・高齢者等の移動と回遊性を高め、地域経済の活性化と災害時輸送に資する。 ・国の制度・基準と整合しつつ、リニア駅周辺で空飛ぶクルマを段階導入し、将来的な災害時の代替輸送・救急搬送や高付加価値観光回遊の創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域公共交通の利便性向上と持続可能な体制構築のため、甲府交通圏等で配車アプリを活用した共同配車の仕組みを構築し、効率化で経営改善と運転手・車両維持を図り、住民・観光客の移動の足を確保する。また、鉄道・バス・タクシーとマイクロモビリティを結節するモビリティハブを試験整備し、人流データを用い市町村と調整・検証する。加えて、リニア駅周辺における空飛ぶクルマ専用離着陸場（パーティポート）候補地の適地・施設要件を調査するとともに、説明・意見交換やデモフライト等の実施により社会受容性を高める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・タクシーの共同配車による利便性向上に係る事業（補助金）32,252千円 ・モビリティハブの試験的構築事業（委託料等）41,123千円 ・空飛ぶクルマ社会実装加速化事業（委託料等）29,986千円						
主なKPI	①県民の地域（居住環境全般）の満足度（+21%） ②山梨県内のタクシー車両数（+30台） ③モビリティハブおよび導入する交通モードについての認知度（実証地域において+30%） ④「やまなし空の移動革命・社会実装推進ネットワーク」内のワーキンググループ参画者数のうち県内事業者数（+15%） ⑤空飛ぶクルマに係る認知度・理解度の高まり及び安全性に対する不安感の低減（+45%）					URL	令和8年6月公表予定
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：「おいしい未来へ やまなし」推進事業

新規

申請者	山梨県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	190,083千円 (62,489千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・農産物の高付加価値化、体験型観光との連携、国内外市場への戦略的な情報発信を通じて、地域ブランドの強化と新たな販路の開拓を図る。 ・農業や地域の魅力を再認識し、農業を魅力ある職業として継承者・新規就農者を迎え、定着を図り、生産基盤を強化する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県産品フェアの開催やエシカル農畜産物の情報発信を通じ、観光客を通じて県産品の認知度向上と消費拡大、経済循環の促進を図る。 海外市場において、デジタルとリアルを融合した双方向プロモーションや海外バイヤーの招聘等を通じて、販路拡大と「やまなし」のブランド力強化し、収益性向上と国際競争力の強化を図る。 産地を支える新規就農者の育成に向け、実践的な研修や栽培指導を通じて担い手の確保・定着を図るとともに、地域事業者の育成支援や地域協議会との連携による持続可能なプロモーション体制の構築を通じて、地域経済の自立的発展を促進する。					県産品フェア エシカル農畜産物PR 海外プロモーション 事業者育成支援 「にじのきらめき」PR 収益性向上・競争力強化	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・宿泊施設と連携した県産品フェア等、県産農産物の国内向けプロモーション（委託料）7,210千円 ・デジタルとリアルを融合した双方向プロモーション等、県産農産物の海外向けプロモーション（委託料）5,550千円、（補助金）39,012千円 ・県産米「にじのきらめき」の産地ブランド確立のためのプロモーション（委託費等）6,487千円 ・もも栽培就農者安定経営確立支援（補助金）4,230千円						
主なKPI	①県産果実の輸出額（＋7.85億円） ②県産農畜水産ブランド関連サイト・動画のアクセス・再生数（＋33万回） ③新規就農者数（＋1,050人） ④卸売市場流通における県産果実販売額（＋32億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

事業概要（仮称）甲府市子ども応援拠点施設整備事業

新規

申請者	山梨県甲府市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,060,570千円 (29,924千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・子どもや子育て世代はもとより、子どもの育ちを応援する大人も集える拠点を整備し、まちづくりの原点となる「ひと」の育みを紡いでいく。 ・子ども・子育て世代に優しい環境づくりとして、ハードとソフトの両面から充実を図ることで、子どもや子育て世代に選ばれる地域を実現し、就学前児童の市外流出を抑制していく。 ・ジュエリーやワイン、甲州印伝などの地場産業の技術に直接触れる体験を子どもたちに提供していくことで、地場産業の持続的な成長に欠かせない人材育成と人材確保を長期的視点で実現していく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○（仮称）甲府市子ども応援拠点施設 【整備内容】 1.交流施設の建設 ①子どもたちが安心して遊び、交流できる機能 ②子育て世代が乳幼児と一緒に交流できる機能 ③中高生が学びや活動で交流できる機能 ④子どもの育ちを応援する大人と交流できる機能 として、交流スペース、プレイルーム、多目的ホール、学習室、キッチンルームを備えた、子どもを中心に様々な世代が交流できる施設の整備						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・新築工事実施設計 29,924千円						
主なKPI	①市外流出者に占める就学前児童の割合 （▲1.00%） ②来館者数 （+42,000人） ③来館者が施設周辺で消費する額（+23,735千円） ④子どもの育ちを支える団体等の数（+24件） ⑤子どもの活動を応援する団体等による子どもの体験機会の開催数（+36回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kofu.yamanashi.jp/sesaku/senryaku/senryaku-vision.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：道の駅富士吉田リニューアルを中心とした地方創生事業

継続

申請者	山梨県富士吉田市					初回採択回	令和7年第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,020,911千円 (1,249,718千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	世界文化遺産「富士山」とその構成資産をはじめとする数々の魅力的な地域資源を持つ本市において、観光周遊性の不足と道の駅の機能限界、来訪者の観光消費の不足という課題の解決のため、多くの誘客に耐えうるキャパシティを持ち域内の玄関口として交通の便が優れている「道の駅富士吉田」の高いハブ機能に着目し、リニューアルを行い、現行の施策との相乗効果を生み出す拠点とすることで市内回遊性を向上させるとともに、道の駅そのものの魅力向上を図り更なる誘客を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 富士吉田市は富士山信仰や街並み、昭和レトロな地域など多様な観光資源を有し、SNSで人気のスポットも多い一方、来訪者が一部に集中し市内周遊性や観光消費の低さが課題となっている。 年間約220万人が訪れる道の駅富士吉田も混雑等により機能限界を迎えている。 そこで道の駅を観光のハブとしてリニューアルし、展望デッキや物産館、カフェ等を整備するとともに、地場産品開発、体験コンテンツ造成、PR事業を展開する。これにより来訪者の回遊促進と消費拡大、地域産業振興、持続的な観光まちづくりを目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・PR事業 2,700千円 ・体験コンテンツの造成 3,000千円 ・織物の活用による施設整備 10,000千円 ○拠点整備事業 ・ハブ機能の強化により、域内全域への回遊性を高めるとともに、富士山の展望や地場産品を堪能できる拠点新築工事 1,223,018千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+266億円） ②道の駅富士吉田施設利用者数（+1,139千人） ③道の駅富士吉田の売上額（+454,735千円） ④体験コンテンツ数（+35個）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/page/13715.html

繼續

申請者	山梨県都留市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,730,446千円 (982,251千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・都留市は市民の9人に1人が都留文科大学学生であり、大学が地方創生を進めていくには必要不可欠である。 ・地域住民も使用しやすい施設に改修するとともに、学生が卒業後も都留市に定着するためのソフト事業を行う。 ・地域に拓けた大学としての機能を強化し、大学施設の充実を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○ソフト事業 当事業の目的である地域の人口を増やす取組として子育て世代をターゲットとした保育の充実や探求学習プログラムの整備を行い、地域活動の交流機会や起業支援、本市の人口増加の実現等を図る。 ○拠点整備事業 市民等が利用可能な各種教室やラーニングコモンズといったオープンスペースを整備し、地域に拓けた大学としての機能を強化するとともに、ゼミ室や多目的教室、コンビニエンスストアなどもあわせて整備することで、大学施設の充実を図る。					 外観イメージ  ラウンジ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・魅力度向上のための戦略的な広報活動 2,000千円 ・大学と地域の学校による「世界とつながる学習プログラム」 3,000千円 ・英語学習環境の構築事業 16,300千円 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 968,169千円 ・建築物と不可分な設備工事 593,391千円						
主なKPI	①地域の人口・世帯数（+345人） ②都留文科大学学生の魅力度向上（+1.4%） ③都留文科大学学生の地域貢献活動に参画する者の割合（+36%） ④都留文科大学卒業生の市内定着率（+5.5%） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tsuru.yamanashi.jp/soshiki/kikaku/seisaku_t/koufukin/13444.html

事業概要：地域ブランディング事業

継続

申請者	山梨県山梨市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	77,185千円 (38,826千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本市の魅力を再整理した上でブランドメッセージを作成し、他地域との差別化すべき内容を明確にした上で戦略的な情報発信を行い関係人口を増加させ、「選ばれるまちづくり」を目指す。 ・シビックプライド醸成に向けたワークショップや市民参加型の情報発信を行うことで、若年層の地域への参加・推奨・感謝意欲を高め、本市に関わり根差す人を増やす。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市場調査の結果、地元特産品に対して海外からの一定の需要が求められていることが判明したため、地域全体で新たな販路開拓に向けたノウハウやネットワークを学べる機会を提供し、資金面の補助による支援も実施する。また、新たに高機能な加工品開発・生産拠点のほか、観光客や地域住民向けのレストランや物販施設を新設する。加えて、鮮度が大切な高付加価値商品の運送における時間短縮に向け、施設と主要幹線道路間に新たな道路を整備する。					笛吹川フルーツ公園 (新日本三大夜景)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・情報発信力強化事業 地域ブランディング事業推進（委託料）：10,527千円 デジタルマーケティングによる情報発信の分析（委託料）：9,350千円 デジタル広告配信（委託料）：8,360千円 職員研修（委託料）：2,640千円 ・シビックプライド醸成事業 まちの魅力を掘り起こし、発信するイベント等の実施（委託料）：7,623千円 ・ワイン特区推進事業 首都圏PR活動：326千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①純転入者数（+13人） ②20～30代の市民の地元愛着度（+3%） ③山梨市公式Line「お友達登録」数（+890件） ④地域参画に繋がるワークショップ・イベント等参加者数（+270人）					URL	https://www.city.yamanashi.yamanashi.jp//soshiki/2/17899.html
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要： 笛吹川フルーツ公園周辺地域整備事業

継続

申請者	山梨県、山梨県山梨市						初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	213,500千円 (97,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓		
目的・効果	果樹生産の振興拠点・情報発信地、観光拠点である笛吹川フルーツ公園及び公園周辺地域において、更なる付加価値を高め、観光客に上質な価値を提供して高い収益を上げる「高付加価値型の観光産業」への進化を促進し、次の世代が「このまちで働きたい・暮らしたい」と思えるような地域の創出に取り組む。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内有数の観光拠点である「笛吹川フルーツ公園」及び周辺地域において、桜の植樹及び公園施設の整備を行い、本地域における観光拠点としての更なる付加価値を高めるため、春先における集客を増加させるような新たな観光コンテンツとしての桜等の遊歩道整備を行う。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 公園内における住民等ボランティア団体との官民連携による桜の苗木植樹イベントの実施及び効果的な高付加価値観光資源を実現するための市場調査 ・植樹を行う苗の購入及びイベントの開催 2,500千円 ・周辺エリアにおける誘客等マーケティング調査 4,000千円 ○拠点整備事業 ・園内遊歩道、近隣道路への植栽 41,000千円 ○インフラ整備事業 ・公園施設整備（遊具等新設） 50,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①山梨市における観光消費額（+3,580百万円） ②笛吹川フルーツ公園の年間利用者数（+100千人） ③植樹イベント参加者数（+400人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方針への反映が記載されているURL	https://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/soshiki/2/17899.html

※山梨県、山梨県山梨市の広域連携事業

事業概要：山梨市こども屋内運動遊び場整備事業

新規

申請者	山梨県山梨市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	670,741千円 (30,921千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・子育て世代が安心して子どもを育てられる環境づくりを進めることで、子育て世代の市内定着(転出抑制)を図るとともに、移住・定住を促進させることで、出生数の増加傾向への転換を図り、加速する人口減少の抑制へとつなげる。 ・地域資源を活用した施設整備及び運営を通じて、次世代の地場産業を担う人材の育成と、農業、林業、商業等の地場産業への波及効果を生み出すとともに、中心市街地のにぎわい創出により、地域経済の持続的な活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 天候に左右されず安全に子どもが、遊びや運動を通じ健やかな成長を育む機会の場の創出として、屋内型の運動遊び場を整備する。 具体的な整備内容としては、年齢に応じた遊具等を配置し、創意工夫しながら遊ぶことで、子どもたちのチャレンジ精神、好奇心を刺激し、幼児期の成長に必要な基本動作を引き出すことができる遊び場の提供や、子どもが遊具や玩具を使い遊びを通じた交流を行うことで社会性や協調性を育む機会を創出する。また、育児相談や交流の場の創出によって子育て世代の子育てに対する負担や不安、孤独感を解消をすることができる支援体制の整備を行うとともに、食育の拠点としての機能も持たせ、家庭での食育をサポートする場として、食を通じた子育てに対しても支援する。						
	【R8年度事業 経費内訳】						
	・新築工事実施設計業務委託 30,921千円						
主なKPI	①人口（減少数の抑制）（▲2,675人） ②出生数（事業開始前人数を維持）（+0人） ③子育て環境の充実に対する満足度（20-40代）（+3.4%） ④施設の年間利用者数（+38,312人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/soshiki/2/17899.html

事業概要： 韮崎産ワインプロモーション事業

継続

申請者	山梨県韮崎市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	70,540千円 (14,992千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ワイナリーそれぞれの魅力を、国内はもとより世界に通用する競争力を持った地域ブランドに推進していくため、本市の地方創生の核を担う持続的な地域産業に定着することを目指す。 ・引き続き地域農業の担い手の確保や耕作放棄地の削減、新たな雇用の創設や人口減少対策、市内飲食業との連携によるマリアージュ等、さまざまな分野に対して、相乗効果と好循環を生み出すことを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 韮崎産ワインの産地化・ブランド化を図るため、ワイナリー設立に向けた取り組みやイベント、啓蒙活動等に必要な業務を行い、地域振興に寄与する。					   	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○小規模ワイナリー開業予定者サポート事業 醸造技術、製造免許を取得するための研修（委託料）296千円 ○果樹新植苗木購入費補助金 ・ワインの原料となるブドウの生産量増大に向け、ブドウの苗木購入に要する経費に対する補助（補助金）1,750千円 ○ワインイベント等開催経費（補助金）5,967千円 ○ワイナリー整備事業費補助金 ・ワイナリーの開業又は事業拡大における施設又は設備整備に対する補助（補助金）5,000千円 ○ワイン原料用ぶどう栽培棚等設置事業費補助金 ・醸造用ブドウの生産に必要な栽培棚を新設もしくは、事業拡大を目的に改修する者に対する補助（補助金）1,979千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①小規模ワイナリー開業数（+5箇所） ②支援事業を通した不耕作及びその恐れのある農地の減少面積（+400a） ③市内における醸造家へと育成する者の発掘及び市外からの呼び込み（+13人） ④小規模ワイナリー開業予定者サポート事業利用者数（+10人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nirasaki.lg.jp/material/files/group/1/R7hyoukakekka.pdf

事業概要：清水港に寄港する海外客船に向けた観光誘客推進事業

継続

申請者	山梨県南アルプス市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	19,360千円 (5,566千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・中部横断自動車道を活用し、清水港に寄港する海外客船の乗船客に対して、魅力あるツアーの提供や積極的な情報発信を進めることにより、外国人観光客や観光消費額の増加を図る。 ・市内の多くの事業者の参画により、官民連携で受け入れ態勢の強化や機運の醸成を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 清水港に寄港する海外客船の乗客を本市に呼び込み、日本の内陸部の素晴らしさを体験してもらい観光消費額の向上を図る。海外客船のランドオペレーターに本市ツアーを造成してもらうほか、市内の受け入れ態勢を強化し、インバウンドを受け入れる事業者の育成、観光ガイドの育成を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ツアー実施に関する企画運営（委託料） 605千円 ・受入体制に関する企画運営（委託料） 1,430千円 ・ツアー受入体制に関する企画運営（委託料） 2,200千円 ・継続実施に向けた企画運営（委託料） 660千円 ・報告書作成費及び事務管理（委託料） 671千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①南アルプス市への観光入込客数（+20万人） ②清水港に寄港する客船からの来訪者数（+1,000人） ③清水港に寄港する客船乗船者の観光消費額（+2千万円） ④「南アルプス市には、観光資源が豊富で誇らしい」と思う市民の評価（+0.06pt）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/docs/21684.html

事業概要：「交通の要衝を活かした地域活性化」共感プロジェクト

新規

申請者	山梨県南アルプス市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,013,657千円 (143,208千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、広域交通ネットワークの進展やリニア中央新幹線開業を見据え、交通の要衝という本市の地理的特性を最大限に活かし、地場産業および市内事業者が持続的に経済価値を創出できる地域構造の構築を目的とする。まちの玄関口に位置する「道の駅 fumotto南アルプス」を観光・交通・交流の結節点として機能強化するとともに、公共交通ネットワークの再編や将来ビジョンの策定を一体的に進めることで、人の流れを市内各地へ誘導し、地域産業を活性化させ、消費拡大や雇用創出へと結び付ける。これにより、果樹栽培をはじめとする地場産業の高付加価値化や販路・商圈の拡大、さらなる産業立地を図ることで、道の駅を核として『地域経済の好循環』を創出する。併せて、交通利便性の向上により市民の生活の質を高め、若年層や子育て世代に選ばれる持続可能なまちづくりを推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、新たに登録する「道の駅 fumotto南アルプス」を拠点に、交通・観光・産業・定住機能を有機的に連携させる地場産業支援関連事業である。具体的には、観光と交通の拠点としての道の駅を整備し、人と情報の集積を図るとともに、リニア中央新幹線開業を見据えた「南アルプス市リニアビジョン（仮称）」を策定し、公共交通再編や土地利用の方向性を明確化する。さらに、ビジョンに基づく公共交通ネットワークの実証および実装を通じ、市内回遊性とアクセス性を高め、来訪者の消費行動を地場産業や市内事業者の成長機会へとつなげる。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・リニアビジョン（仮称）策定支援業務（基本構想） 策定支援業務委託 3,839千円 ○拠点整備事業 ・道の駅fumotto南アルプス 観光と交通の拠点 基本設計及び実施設計業務委託 66,761千円 土木工事 63,800千円 デジタルサイネージ コンテンツ制作およびシステム構築委託業務 8,808千円					 	
主なKPI	①市人口社会増減数（+2,550人） ②観光入込客数（+199,607人） ③地域資源を活用する民間企業の誘致数（土地売買契約等を締結した企業の数）（+8件） ④「私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」と思う市民の割合（+0.22pt） ⑤「南アルプス市では、やりたい仕事を見つけやすい」と思う市民の評価（+0.22pt） ⑥「南アルプス市には、観光資源が豊富で誇らしい」と思う市民の評価（+0.22pt）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証） https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/docs/10814.html

事業概要：ポストコロナ期の北杜デジタルファンクラブ創出プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	山梨県北杜市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	18,490千円 (6,145千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・『ほくとファンクラブ』の組成することで『山梨県北杜市』の認知度の向上を図る。 ・若い世代特に女性に向けた情報発信による若者・女性の関係人口の創出、二拠点居住や定住の促進を図る。 ・情報共有／発信のデジタル基盤整備により、新型コロナウイルス等による活動停滞を回避し継続的活動を可能にする。 ・一過性でない情報発信体制や基盤を作ることで、継続的安定的な魅力発信を可能にする。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市の魅力をSNS等により発信を行うとともに、地域資源を活かしたイベントを開催し、市外からの関係人口の増加や市の認知度の向上による地方への人の流れの創出、市への誇りの醸成を図る。	   	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ファンクラブ会員に向けた情報発信基盤構築事業 ファンクラブ会員に向けた情報を発信するSNSを利用するもの。 1. 公式ホームページにおける情報発信 及び地域魅力紹介新ページ作成（委託料） 150千円 2. SNSコンテンツ制作（地域魅力画像製作、SNSインサイト分析 及びターゲット層への広告宣伝等）（委託料） 563千円 ・ファンクラブ企画運営管理事業 ファンクラブの管理運営やイベント開催業務を委託するもの。 1. ブランディングプロデュース（委託料） 1,650千円 2. ファンクラブ運営管理（委託料） 1,628千円 3. ファンクラブイベント開催（市内1回・市外1回、年2回程度） （委託料） 2,154千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①北杜市へのUIターン数（+9世帯） ②ほくとファンクラブ会員数（+450人） ③地元事業者との連携数（+30事業者） ④ほくとファンクラブ会員のマインドの変化（+90mGAP）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/docs/33401.html (令和8年7月公表予定)

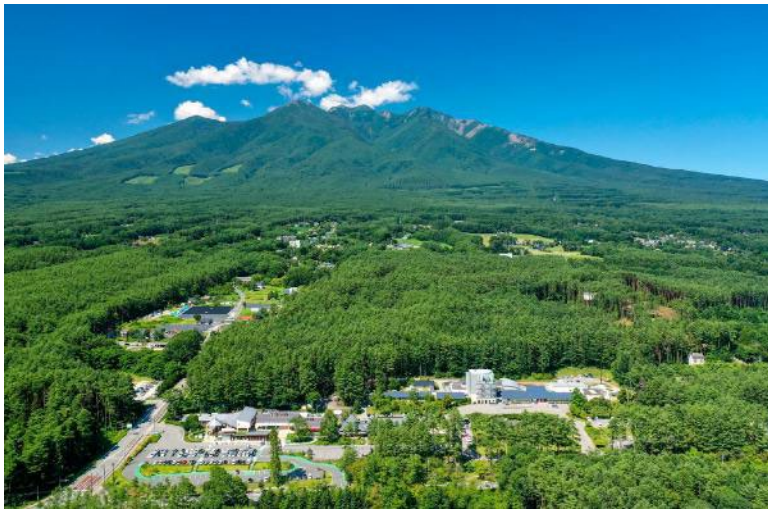
事業概要：白州体育館敷地内サンドグラウンド整備事業

継続

申請者	山梨県北杜市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	252,089千円 (227,480千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ビーチバレーボールコートを、大規模な公式大会も開催可能な仕様に整備・拡充し、バレーボールやパラスポーツ関連の大会・イベントや合宿等の誘致と、スポーツ・パラスポーツの推進に加えて、近隣に立地する難病・障害者向け施設等と連携した共生社会推進イベントを展開することで、市内外からの当該施設への交流人口の拡大を図る。 ・さらに、従来より本市が取り組む移住定住促進施策と併せて、共生社会関連イベント開催による本市のイメージアップとの相乗効果による定住人口の増加につなげ、市全体の地域再生を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 白州体育館内のビーチバレーボールコートの拡充・魅力化を起点として、スポーツやパラスポーツ関連の大会・合宿・イベントの誘致のみならず、障害者や子育て世代、高齢者や移住者等、多様な主体が参加できるイベントを数多く開催することで、市内への関係人口増加を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域調整・事業周知関連費用及びオープニングセレモニー関係費用 (需用費・備品購入費) 2,200千円 ○拠点整備事業 ・サンドグラウンド改修工事・監理業務委託及びビーチバレーボール資材購入 (工事費) 214,115千円 (委託費) 7,843千円 (備品購入費) 3,322千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①北杜市の人口 (+155人) ②大会・合宿・研修等利用者数 (+1,550人) ③大会・合宿・研修会の開催 (+39回) ④共生社会関連イベント数 (+600人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/docs/33401.html (令和8年7月公表予定)

事業概要：「八ヶ岳南麓・馬のまち小淵沢」ブランド創出・拠点整備事業

新規

申請者	山梨県北杜市						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,317,638千円 (180,046千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓		
目的・効果	・観光産業で稼げるまちづくりを実現するため、国内及びインバウンド富裕層を取り込める高付加価値な観光地を目指す。 ・地域の強みを生かし、モダンラグジュアリー層に訴求するため、ウリ・ヤド・ヒト・コネ・アシについて官民が連携しながら、一体的に整備・推進し、観光消費額の増加と地域経済の好循環を創出する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光客の入込や消費額の更なる増加が求められる中、馬を核とした「小淵沢エリア振興ビジョン」が掲げる将来像の実現に向け、エリアの拠点となるスパティオ小淵沢の宿泊・交流機能の再生や広場の多目的イベント化、市道の景観・歩行環境整備による回遊性向上に加え、コンセプトブック作成や体験型観光の造成、情報発信の強化を行うことで、滞在型観光の促進と地域ブランド力の向上を図り、観光産業の高付加価値化と持続的な地域経済の好循環につなげる。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・認知度向上事業（委託料、広告料）16,799千円 ・滞在型体験コンテンツ造成（委託料、広告料、補助金）5,500千円 ・来訪者調査（委託料）10,747千円 ○拠点整備事業 ・ホテル・広場・トイレ等の施設改修実施設計 10,000千円 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 137,000千円 回遊性向上と景観形成のための道路及び歩道、電柱の地中化の整備を行う。							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①一人当たり観光消費額（+5,416円） ②観光消費額（+158億円） ③宿泊客比率（+3.5ポイント） ④小淵沢エリア滞在満足度（+6.5%） ⑤小淵沢認知度（+18.8%）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

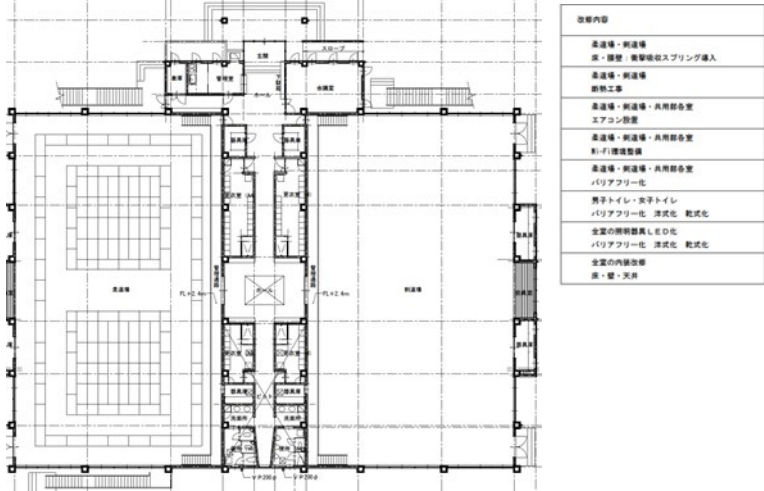
事業概要：赤坂ソフトパークを新たな人流創出拠点とした広場整備及びインフラ再整備事業

継続

申請者	山梨県甲斐市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	231,089千円 (3,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	赤坂台エリアを地域の賑わい創出拠点とするとともに、3大都市圏からの観光客や交流人口の増加、また、地域住民の憩いの場となること目指し、地域経済の活性化と住民生活の質向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、赤坂台エリアを地域の賑わい創出拠点とするため、赤坂ソフトパーク内市有地の広場改修整備のほか、老朽化しているインフラ施設の整備のための道路改良工事を行う。 また、隣接する専門学校、市内企業等で構成する協議会を設立するとともに、公園内の集客施設との相乗効果を図りながら、地域活性化事業を実施していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域活性化プロジェクトに関する取組 3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+153,000人） ②暮らしやすいと感じる市民の割合（+3%） ③転入者数（59人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kai.yamanashi.jp/soshikinogoannai/seisakusenryaku/saisakusenryaku/16493.html

事業概要： 笛吹市スポーツツーリズム拠点整備事業

継続

申請者	山梨県笛吹市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,258,201千円 (480,160千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・本市では、武道館を核とした地域拠点整備とソフト施策を一体的に推進することにより、地域資源の最大活用、官民・多主体連携、そして持続可能な地域経済循環の実現を図る。 ・具体的には、「武道×教育」「武道×観光」「武道×防災」を基軸に、都市と地方をつなぐ新しい「人材と経済の流れ」を創出し、安心・活力ある地方都市モデルの構築を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では、「武道文化を軸にしたスマート防災・地域振興拠点の整備」と「アスリート・プロ人材によるソフト施策の展開」を通じ、地域課題の横断的解決と多層的な地方創生を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 本事業は、拠点整備によってリノベーションされた武道館を中核とし、「地域外人材・資源の呼び込み」と「地域経済の循環化」を同時に実現するものである。 アスリート人材による市内小中学校への出前授業や武道競技体験会の開催 等 委託費 15,673千円 什器等の購入による体制整備 備品購入費 555千円 ○拠点整備事業 市中心部にある武道館（石和清流館）を、「平時は文化・スポーツ・教育の拠点」「災害時は福祉避難所」として、次の機能を改修整備・強化する。これにより、「集う・守る・支える」を統合したレジリエントな地域拠点への転換を図る。 施設整備 463,932千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①交流人口の増加(+1,520人) ②武道出前授業の実施回数(+25回) ③武道出前授業参加児童・生徒数(+750人) ④スポーツ合宿の開催数(+10回) ⑤地域経済への波及効果（スポーツ合宿）(+5,600千円)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月頃に公表予定

事業概要：上野原市における地域住民主導型子育て・生活共助コミュニティ創造事業

旧制度（推進）

申請者	山梨県上野原市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	56,020千円（20,906千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	出産・子育て・労働のいずれの場面においても女性が希望する自らの在り方を実現できる環境を整備し、「女性に選ばれるまち」を実現することで、本市に住む女性の増加・人口動態の改善・経済成長の実現につなげる。 また、若年層や子育て世代等が感じる子育て環境の不安解消に向けて、地元企業の受け入れ体制整備やコミュニティなど地域全体で取り組む環境づくりを行う。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地元人材をコミュニティ形成の担い手として募集・育成し、暮らしや子育てに関する情報共有や相談、サービスを共有できる仕組み「子育て・生活共助コミュニティ」をアナログとデジタルの両輪で構築する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域のニーズに即したシェア・コンシェルジュ（担い手）の発掘・研修・育成・支援を行う経費（委託料）5,280千円 現地やWEBによる説明会や地域の担い手の研修会の開催する等。 ・ICTを活用した専用アプリの設置・運営・PRに関する経費（委託料）7,920千円 専用アプリを実装し、適切な運営管理を行うことで、多くのユーザー登録や地域のニーズに即した利活用を促進し、地域活性化を行う。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域への転入者の数（+50人） ②地域の担い手の数（+28人） ③交流イベント実施回数（+54回） ④コミュニティアプリ内における共助数（+200件）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.uenohara.yamanashi.jp/page/2395.html

事業概要：甲州市ワインプロモーション事業

新規

申請者	山梨県甲州市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	6,600千円 (2,200千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域ブランドを保持するため、地域特性を強力にプロモーションを実施し、消費者に訴求するための新たな価値観や販売方法を構築する。 ・ワイン製造販売における付加価値向上と販路拡大を支援することで、ワイン産業と観光のまちとしての維持確立に取り組む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・ITやDX技術を活用し、原料栽培地、ワイナリー、保管等のトレーサビリティの情報、プライベートワインの購入権獲得などの特典の情報を搭載したICチップをワインボトルに貼付けて販売することにより、販売価値の向上と販売促進を図る。 ・ワイン原料生産者やワイナリーなどの作り手の情報や、付与された特典を購買時に簡便に見える可することで、新しい価値として認識してもらうと共に商品選択の要素を増やし、購買意欲に働きかけて販売量の増加を目指すものである。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ワインの付加価値向上のため、購買特典やトレーサビリティ情報等を付与したICタグを製作に係る委託料 ・NFCタグの製造・NFCタグへの付与情報作成（委託料）2,200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①対象ワインの販売本数（+2,000本） ②小売店や代理店販売先の確保件数（+8件） ③参加ワイナリー数（+6件） ④付加価値増加額（+1,000円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

申請者	山梨県早川町					初回採択回	令和7年第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	117,410千円 (2,894千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・町内の観光拠点である奈良田女帝の湯をリニューアルし、町独自のアニメーションを活用した積極的な情報発信を進めることにより、観光消費額の増加を図る。 ・地域の活性化や若者に選ばれる町を構築し、労働人口の7割以上を占める3次産業従事者の移住及び所得向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 早川町オリジナル漫画「モノケのムスメ」を活用し公式X（旧Twitter）やホームページなどを通じて効果的な情報発信を行います。また、キャラクターコンテンツを用いたイベントを開催することで、早川町に眠る魅力的なスポットを広く紹介し、とりわけ若者や女性層に訴求していきます。 さらに、小さいお子様を連れたご家族にも早川町の魅力を知っていただき、観光だけでなく、将来的は移住を視野に入れていただけるような関係人口の創出、拡大を目指します。 令和7年度 女帝の湯改修工事、漫画モノケのムスメを使った早川町周知事業 令和8年度 漫画モノケのムスメを使った早川町周知事業 令和9年度 漫画モノケのムスメを使った早川町周知事業						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・漫画作成業務 1,080千円 ・周知用の販促物作成料 550千円 ・周知用の販促物デザイン料 230千円 ・早川町入口看板デザイン料 165千円 ・デジタルスタンブラー業務 869千円						
主なKPI	①早川町への観光入り込み客数 （+21,000人） ②女帝の湯 年間来場者数 （+3,000人） ③女帝の湯 年間売上高 （+300千円） ④公式X フォロアー数 （+480人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.hayakawa.yamanashi.jp/town/grapple/2026-0530-0942-40.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	山梨県昭和町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	821,530千円 (45,500千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・都市化が進んだ本町において、地域のつながりの希薄化が進み子育て世帯が孤立化している。本事業により交流・相談の場を整備し、若者や女性が安心して子育てできる環境づくりを推進する。 ・子育て終了後（育休等終了後）に向けて、施設内にて就労支援セミナー等の事業を開催し、町内の中小企業や個人事業主が生み出す新たな製品の製造・販売を担う人材確保に努め、本町の地場産業支援を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 全天候型の屋内遊び場を設け、地域の多様な主体が施設内で親子に関わり、子育て中の不安を解消し、若者・女性が安全安心して子育てできる環境を整備する。 施設内において、多様な講座を開催し若者・女性の健康増進、スキルアップに努めると同時に、起業、DX等、就労支援講座等を開催し、子育てが落ち着いたころ、就労がスムーズに進み、若者や女性が安心して暮らし活躍でき、地場産業において人材確保につながる地域づくりを推進する。					■配置イメージ（室内） ■配置イメージ（外構）	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・昭和町子育て支援センター新築工事実施設計 45,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（+200人） ②施設利用者の数（+11,880人） ③本施設に満足と答えた人の割合（+0.85%） ④子育て支援アプリの登録者割合（+0.35%） ⑤本町の子育て環境や支援への満足度（+8%） ⑥子育てサークル設置数（+2団体）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：こすげ村人ポイント活用戦略事業

新規

申請者	山梨県小菅村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	15,000千円 (5,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・関係人口の行動履歴を可視化し、来訪・参加を継続的な関与へ転換する仕組みを構築する。 ・住民・団体と関係人口の協働機会を面的に創出し、地域の担い手不足を補完する。 ・協働を通じて生まれる体験や関係性を価値化し、地場産業の稼ぐ力を高める。 (例：養魚所での作業支援や農作物の収穫体験を通じたりピーター化、イベント出店・商品開発への参画、村産品のオンライン購入促進等)						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、こすげ村人ポイントカードにより可視化された関係人口の行動履歴を起点に、村民との協働を生み出す仕組みを構築するものである。 ポイント制度の運用改善とデータ活用基盤の整備により、関係人口の一過性参加を防ぎ、継続的な関与へと転換する。あわせて、住民・団体が主体となる小規模な協働活動を支援し、体験や関係性を価値化することで、地場産業の稼ぐ力と地域の担い手育成につなげる。					  	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ポイントカード運用改善事業（委託料）1,500千円 ・住民・団体によるイベント支援制度設計（委託料）850千円 ・データ活用の基盤整備（委託料）750千円 ・ポイントカードアプリ改修（委託料）1,900千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①コア会員数（共創人口）（+160人） ②ポイント付与・利用件数（年間）（+3,500回） ③住民・団体が主催するイベント・事業数（+12回） ④データに基づく施策立案・改善件数（+1件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/living/soumu/

事業概要：地域担い手循環型居住拠点整備事業

新規

申請者	山梨県小菅村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	123,900千円 (61,950千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・村内事業所への就業・地域活動参加を入居要件とし、人材受入と育成を進める循環型居住拠点を形成する。 ・住宅整備と伴走支援を一体で実施し、就業開始から地域参画・定住移行までを支える仕組みを構築する。 ・人材確保が困難な村内産業や地域活動に継続的な担い手を供給し、地域経済と共同体機能を強化する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、村内就業をきっかけに転入した人材が地域に定着し、産業や地域活動の担い手として活躍し続ける循環を生み出すことを目的に、地域人材の居住基盤となる住宅を段階的に整備するとともに、受入・定着に向けた伴走型のソフト事業を一体的に実施するものである。 住宅を単なる居住の場にとどめず、就業・地域活動と連動した人材定着の拠点として位置づけ、行政・事業所・地域が連携した持続的な人材受入・育成の仕組みを構築する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域担い手循環型居住拠点・受入運用制度設計支援業務（委託料） 2,000千円 ○拠点整備事業 ・地域人材循環型居住拠点（1号棟）建設工事 59,950千円						
主なKPI	①居住拠点を起点とした人材定着率（入居期間終了後）（+60%） ②居住拠点を活用した人材受入人数（延べ）（+16人） ③入居者の地域活動参加率（+100%） ④居住拠点から定住・移行に向けた支援を受けた入居者の割合（+100%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/living/soumu/

事業概要：菌床栽培農家育成のための自立型きくらげ生産拠点形成事業

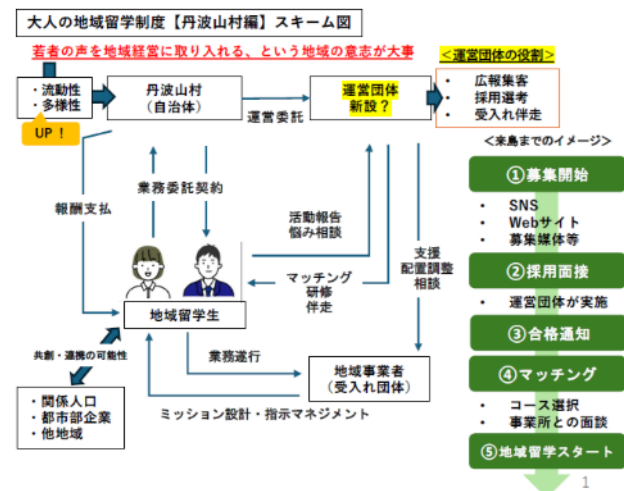
新規

申請者	山梨県小菅村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	23,100千円 (23,100千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・菌床1,000個規模のきくらげ生産施設を2棟整備し、地産地消・加工・ECを組み合わせた収益モデルにより、安定的に収益を生む生産基盤を構築する。 ・栽培から運営・販売までを一体的に担える人材を育成し、補助期間終了後は民間主体による自立運営へ移行する。 ・行政が初期投資や試行段階のリスクを担うことで、民間が参入・拡大しやすい市場環境を先行整備し、持続的な地域産業の形成につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、菌床1,000個規模のきくらげ生産施設を2棟整備し、安定的な生産体制を構築するとともに、栽培技術・衛生管理・施設運営・販売管理までを一体的に担える担い手を計画的に育成するものである。行政が初期投資や試行段階のリスクを担い、人材育成と収益モデルの実証を同時に進めることで、補助期間終了後の民間主体への円滑な運営移行を図る。地産地消と加工・外販を組み合わせ、地域に人材と収益が循環する自立的な「稼ぐ農業」の実装を目指す。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・きくらげ栽培システムコンテナ導入費（2基） 22,000千円 ・付帯工事（上下水・電気接続工事） 1,100千円						
主なKPI	①新規就農数（+2人） ②きくらげ生産・販売事業における年間売上額（+40,188千円） ③栽培研修・体験プログラム参加者数（+10人） ④研修終了後、菌床農業に従事する者の数（+4人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/living/soumu/

事業概要：丹波山村 暮らしと観光のDX推進事業

旧制度（推進）

申請者	山梨県丹波山村	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	128,680千円 （38,240千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	人口減少を食い止めるため、地域産業の生産性向上、地域収益の最大化、暮らしの利便性向上が求められており、これらをデジタルシフトすることで実現していく。観光を主要産業とする本村としては、【暮らしDX】【観光DX】の2つをテーマとして実施していく。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタルを活用し、丹波山村の「暮らしDX」、「観光DX」を推進し、地域産業の生産性向上と地域収益の最大化および新たな関係人口の創出を実現し、丹波山村を持続可能な村を目指す。	<pre>graph TD; A[丹波山村] --- B[丹波山村デジタルセンター(仮称)]; B -- "効果的な情報発信" --> C((観光客)); B -- "DXによる経営支援" --> D((地域事業者));</pre>	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・デジタル推進人材の人件費（委託料）12,010千円 地域内でデジタル推進をする人材を登用するための人件費に充当 ・デジタルマーケティングの運用費用（委託料）6,300千円 地域に観光客や交流人口を増加するためのデジタルマーケティングを運用するための費用に充当		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①当事業による地域における新規雇用者数（+5人） ②住民へのデジタル活用サポート網羅率（+90%） ③丹波山村デジタルセンターシステムの地域事業者導入率（+55%） ④観光経営の高度化の実現による観光来村者の増加数（+15,000人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/gyousei/index.html （効果検証） https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/gyousei/index.html

申請者	山梨県丹波山村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	176,100千円 (52,900千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・若者および子どもの人口の還流のため、教育コンテンツと受け入れ制度の開発・運営を行う。 ・関係人口の地域経営への参画のため、受け入れ制度の構築とWEB3を活用した受け入れ制度を行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタル実装を前提とし、子どもや若者の人材流入を強化しながらも、良質な関係人口を増やし育てていくことで、若者人口の一時滞在者増加による地域内の活力向上と滞在経験者の中から本移住へ繋がる人の増加、または関係人口を地域経営に参画させていくことで、地域内の経営資源のみに頼らない仕組みを構築し、持続可能な地域へと成長していくことを目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・新しい形で山村留学プログラムの募集/提供開始（委託料）7,600千円 ・大人の地域留学【丹波山村編】制度の構築、運営（委託料）15,000千円 ・丹波山村オフィシャルアンバサダー制度の運営（委託料）14,000千円 ・丹波山村DAOの運営事務局（委託料）8,800千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①大人の地域留学【丹波山村編】制度の活用者のうち次年度以降の本移住に繋がった人数（+7人） ②大人の地域留学【丹波山村編】制度の活用者数（+24人） ③丹波山村オフィシャルアンバサダーの登録人数（+150人） ④丹波山村「山村親子留学生」の人数（+10人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.vill.tabayama.yamana.shi.jp/gyousei/index.html （効果検証） https://www.vill.tabayama.yamana.shi.jp/gyousei/index.html

新規

申請者	山梨県丹波山村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	754,816千円 （299,322千円）
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業		
目的・効果	・人口規模が極めて小さい丹波山村において、住宅・生業・交流機能をエリア単位で再編・運営することで、地場産業を支える担い手確保と定着を図る。 ・官民連携ネットワークを基盤に、小規模事業や生業の継続・創出を支援し、地域経済の持続性を高める。 ・関与度の高い関係人口を創出・循環させることで、人口減少の抑制と地域運営体制の強化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 丹波山村中心部を対象に、住宅・生業・交流機能を個別に整備するのではなく、「人の流れと定着の段階」に応じてエリア単位で再編・運営する仕組みを構築する。その前提として、役場を中核とした官民連携ネットワークを構築し、役場は調整・制度設計を担い、民間事業者、商工会、地域団体、移住者・関係人口等が役割分担のもとで事業を推進する。住宅整備は恒久居住を目的とせず、定着初期層の受け止めと次の住まいへの移行を前提とした循環型住宅供給として位置付け、生業拠点整備と連動させることで、地場産業を支える人材循環とエリア運営の定着を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・官民連携ネットワーク構築・運営支援 2,500千円 ・エリアマネジメント体制構築支援 2,500千円 ○拠点整備事業 ・旧庁舎及び旧公民館の解体撤去 154,000千円 ・空き家解体（中村邸） 5,500千円 ・コミュニティ拠点整備 44,013千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①定住人口（住民基本台帳人口）の維持（+5人） ②改修・再編により新たに確保された「定着初期層向け滞在枠（期限付き）」の運用戸数（+28戸） ③定着初期層向け住宅から村内の次の住まいへ移行した世帯数（住み替え件数）（+6世帯） ④生業・小規模事業拠点の整備・稼働数（年間〇日以上の利用実績がある拠点）（+4拠点） ⑤継続的に地域活動・事業運営に関与する「関与度の高い関係人口」人数（年度内複数回参加者）（+25人） ⑥官民連携ネットワークにおいて活用方針（取得／賃借／暫定利用／運営主体／用途等）を整理し、合意した土地・建物件数（+8件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.tabayama.yamana.shi.jp/gyousei/2026-0529-1155-1.html